

令和2年度(2020年度)公共事業再評価調査

基準年月日 令和2年8月1日

Table with 5 columns: 調査番号 (08-07), 所管部 (建設部), 作成責任者 (建設部土木局河川砂防課長 滝田 哲也), 担当係 (河川計画係(内) 29-323)

I 基本事項(基準日時点)

Table with 4 columns: 事業種別 (河川総合流域防災事業費(社会資本整備総合交付金)), 地区名 (ヤリケレナイ川), 市町村名 (由仁町), 事業費 (2,976百万円), 負担割合 (国67%, 道33%, 市町村)

Table with 2 columns: 事業目的・目標 (ヤリケレナイ川は、石狩川水系夕張川に合流する一級河川で、S50年(1975年)8月、S56年(1981年)8月、H2年(1990年)4月の洪水により、家屋浸水など多大な被害が発生した。), 事業概要 (ヤリケレナイ川は、夕張川合流点上流0.1km地点から2.2kmの間について、河道の掘削による河積の拡大を行うものである。), 工事費内訳 (掘削工 L=2,200m, 護岸工 L=1,850m → 1,970m, 附帯工事 道路橋N=11橋等)

Table with 2 columns: 総合計画での位置付け (総合計画:中項目 強靱な北海道づくりとバックアップ機能の発揮, 総合計画:小項目 大規模自然災害に対する北海道自らの脆弱性の克服)

II 公共事業評価経過

Table with 10 columns: 事業経過 (事前評価, 前回評価, 今回評価), 事業採択 (H13(2001), H16(2004), H16(2004), H16(2004)), 着手 (H16(2004), H16(2004), H16(2004)), 評価年度 (H22(2010), H27(2015), R2(2020)), 完了予定 (H22(2010), H32(2020), R6(2024)), 経過年数 (19), 総事業費(a) (1,940, 2,460, 2,976), 道負担額 (647, 820, 992), 当該年度事業費 (240), 累積事業費(b) (2,241), 進捗率(b)/a (75%)

変更理由・内容

- (1) 神楽橋、幼稚園橋などにおける軟弱地盤対策による構造形式の変更による
(2) 幼稚園橋架替にあたり、架橋位置の変更、仮橋が必要になったことなどによる
(3) 資材及び労務単価の上昇や消費税率の変更による (4) 事業費の増額に伴い残事業の施工期間を精査したことによる

Table with 2 columns: 1. 事業採択に至る経過と背景 (S50年(1975年)8月 浸水被害が発生(浸水面積1.3ha、浸水家屋2戸), S56年(1981年)8月 浸水被害が発生(浸水面積14ha、浸水家屋438戸), H2年(1990年)4月 浸水被害が発生(浸水面積0.1ha、浸水家屋3戸)), 2. 事業検討の経緯 (S56年(1981年)8月 浸水被害を契機に上流区間(由仁町馬追地区)の住民より河川改修の要望, H9年(1997年) 由仁町より道に河川改修の要望, H13年(2001年) ヤリケレナイ川の改修事業に着手), 3. 事業効果を及ぼす地域・対象 (由仁町本町地区など 氾濫防止面積25ha(うち農地10ha)、浸水防止家屋106戸), 4. 関連する事業 (Table with 5 columns: 事業名, 事業主体, 事業期間, 事業費(百万円), 事業内容)

IV 事業の実施状況

Table with 10 columns: (1) 事業実績及び今後の計画 (Table with 10 columns: 施工(工種)区分, 工事内容, H13~16, 17, 30, R1, 2, 3, 6, 進捗状況, 事業費(百万円)), (2) 進捗状況 (幼稚園橋下流までの1.1km区間の整備が完了。事業期間の延伸後、事業は概ね予定どおりに進捗しており、今後の事業実施にあたって、特に大きな支障となるものはない。), a (a: 概ね予定どおり実施している, b: 事業計画(期間)等を変更し実施する, c: 問題が生じ、実施に支障をきたしている)

Table with 5 columns: 2. 事業効果 (Table with 4 columns: 経済効果の内訳(百万円), 費用の内訳(百万円), B/C, 備考), 前回再評価年度: H27年度(2015年度), 前回再評価時B/C: 2.69, 変更理由 (神楽橋、幼稚園橋などにおける軟弱地盤対策による構造形式の変更による, 幼稚園橋架替にあたり、架橋位置の変更、仮橋が必要になったことなどによる, 資材及び労務単価の上昇による, 事業費の増額に伴い残事業の施工期間を精査したことによる, 治水経済調査マニュアル(案)が改定され、便益の算定方法等が見直されたことによる, 効果及び費用をR2に現在価値化したことによる)

Table with 3 columns: 3. コスト削減などの取組 (Table with 2 columns: 取組の項目, 取組内容), 縮減額(百万円) (1, 2)

V 評価							
1. 必要性	<ul style="list-style-type: none"> ● 本事業は、由仁町本町地区などの市街地及び農地の洪水被害を防止するためのもの。 ● 事業の必要性に変化はなく、着実に事業の推進を図る必要がある。 						
	<p>a a：事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。 b：着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。</p> <p>c：着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。</p>						
2. 事業を推進する上での課題	<p>(1) 環境上の配慮及び課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 落差工に魚道を設け、河床の縦断的な連続性を確保することにより、魚類などの移動に配慮している。 ● 魚類などに配慮し、現況河床や河畔林を極力保全している。 ● 植生の早期回復を図るため、護岸などに現地採取の表土による覆土を実施している。 <p>※直近の評価以降の状況変化はない。</p>						
	<p>(2) 事業推進に対する住民の動向</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 由仁町から事業の早期完成に向けての毎年度要望が出されている。 ● 空知地方総合開発期成会から事業の早期完成に向けて毎年度要望が出されている。 						
	<p>(3) その他の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 特になし 						
3. 事業達成の見込み	<p>今後の事業の実施にあたっては、特に大きな支障となるものはなく、事業は順調に進捗していく見込みである。</p>						
	<p>a a：現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。</p> <p>b：課題はあるものの達成は可能である。</p> <p>c：大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。</p>						
4. 対処方針	<p>事業の必要性に変化はなく、地元からの早期完成要望も受けているため、令和6年度（2024年度）の完成を目指し、事業継続する。</p>						
	<p>a a：継続 b：終了 c：休止 d：中止</p> <table border="1"> <tr> <td>事業期間の変更の有無</td> <td>無</td> <td>事業費の変更の有無</td> <td>有</td> <td>事業内容変更の有無</td> <td>目的・規模等に係る変更 無</td> <td>左記以外の変更 無</td> </tr> </table>	事業期間の変更の有無	無	事業費の変更の有無	有	事業内容変更の有無	目的・規模等に係る変更 無
事業期間の変更の有無	無	事業費の変更の有無	有	事業内容変更の有無	目的・規模等に係る変更 無	左記以外の変更 無	

VI 備考

1. 評価履歴	<p>再評価：平成27年度（2015年度）実施 評価結果：継続（変更なし） B/C：2.69</p>
---------	--

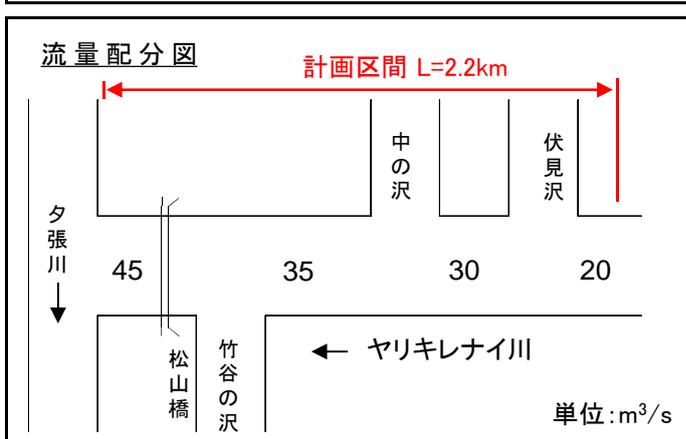
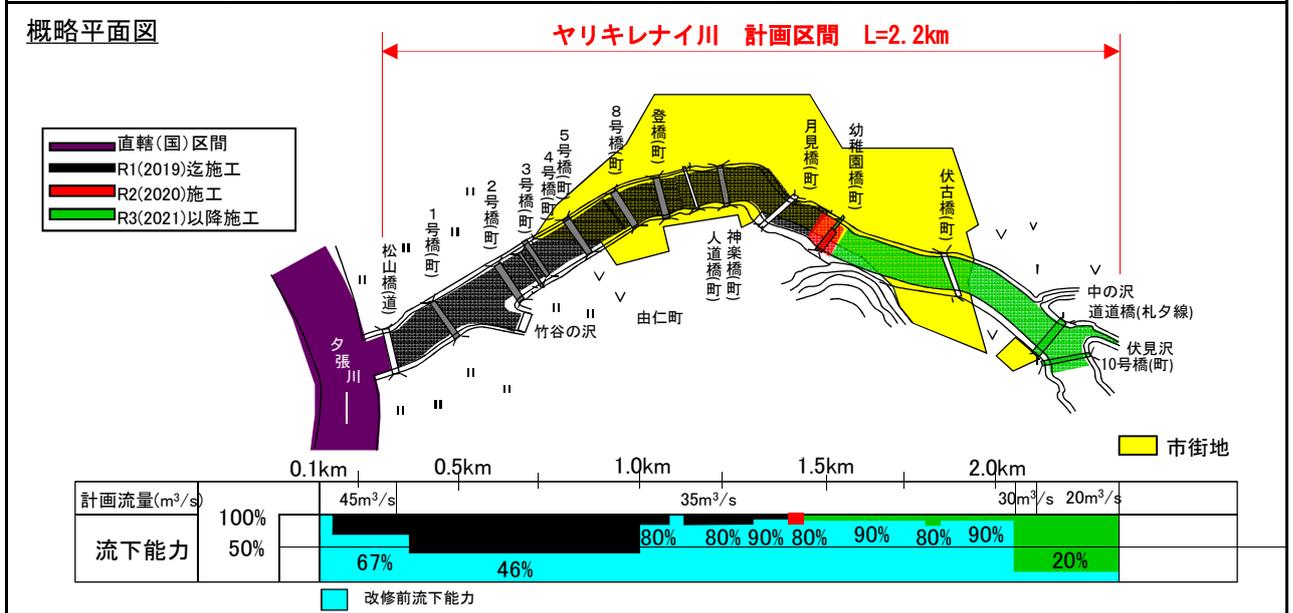
2. その他の取組事項	<ul style="list-style-type: none"> ● 水路の草刈りやゴミ拾いを、地域住民が主体となって実施。
-------------	---

補足資料

VII 事業計画変更						(単位：百万円)						
事業期間	再評価 又は当初	事業採択	着手	変更年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累積事業費(b)	進捗率(b)/(a)
								変更①	1回目	H13 (2001)	H16 (2004)	H22 (2010)
変更②	2回目		H16 (2004)	H22 (2010)	H27 (2015)	2	1,940	647				
変更③				H27 (2015)	H32 (2020)	3	2,460	820				
変更④				H29 (2017)	H32 (2020)	4	2,681	894				
変更⑤	3回目			R1 (2019)	R6 (2024)	5	2,891	964				
変更⑥				R2 (2020)	R6 (2024)	6	2,976	992	240	2,241	75%	
変更⑦						7						
変更⑧						8						
変更⑨						9						
変更⑩						10						
						19						

変更理由・内容	<p>変更①：事業期間の延伸 町道登橋下流左岸の用地買収において、相続人が多数おり用地交渉に時間を要したことによる。</p> <p>変更②：事業費の変更 護岸工の変更などによる。 事業期間の延伸 用地交渉に時間を要したことなどによる。</p> <p>変更③：事業費の変更 神楽橋、幼稚園橋などにおける軟弱地盤対策による構造形式の変更による。</p> <p>変更④：事業費の変更 幼稚園橋架替にあたり、架橋位置の変更、仮橋が必要になったことなどによる。 事業期間の延伸 事業費の増額に伴い残事業の施工期間を精査したことによる。</p> <p>変更⑤：事業費の変更 資材及び労務単価の上昇や消費税率の変更による。</p>
---------	--

事業名	河川総合流域防災事業費 (社会資本整備総合交付金)	地区名	ヤリクレナイ川	採択年度	H13 (2001)
-----	------------------------------	-----	---------	------	---------------



計画諸元

流域面積 (km ²)	6.8
計画延長 (km)	2.2
氾濫面積 (ha)	25
計画雨量	28.3 mm/hr
計画高水流量 (m ³ /s)	45
計画勾配	1/550~1/70

